



サビ落とし
不要

特殊 サビドメ剤
配合

サビの上から
そのまま塗れる

※ボロボロと取れるよ
うなサビは取り除く
必要があります。

油性
高耐久

鉄部用

●屋内外の鉄部・鉄製品

ガルバリウム鋼板
トタンペイ
アルミ建材
ステンレス製品

にも塗れる！



速乾タイプ

●この容器は、つまりめ液を加えてか
きまぜられるよう、多少大きめに
つくってあります。中身の塗料は正
確な量はいっています。
●容器に表示してある色とツヤ、お
よび塗料の中の塗料の色は、乾いてか
らの塗料の色と多少異なることが
あります。



無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

注意書きをよく読んで
から使用して下さい。

ツヤあり
1回塗り

ツヤ消し色は落ち着いた
ツヤ消しに仕上がります。

標準塗り面積(1回塗り)
6.0~8.0㎡
(タタミ3.6~4.5枚分)

乾燥時間
夏期/1.5~2時間
冬期/5~6時間

塗り重ね時間の目安
夏期/4時間以上
冬期/8時間以上

0.7L

商品名 油性高耐久鉄部用
品名 合成樹脂塗料
成分 合成樹脂(シリコンアクリル樹脂)、
顔料、サビドメ剤、有機溶剤
特長
●サビの上から直接塗れる、サビドメ兼用の高耐
久鉄部用塗料です。●1回塗りで仕上がりますの
で作業性が抜群です。●特殊強力サビドメ剤が
サビの進行を抑え、長期間鉄部をサビから保護
します。●シリコンアクリル樹脂の採用で耐候性
に優れます。●密着力が強く、ガルバリウム鋼板や
アルミ、ステンレスなどにも塗装できます。

用 途 扉、フェンス、シャッター、パイプ、機械器具、農機具など
屋内外の鉄部、鉄製品、ガルバリウム鋼板のサイディング、
トタンペイ、アルミ建材、ステンレス製品。(食品などの直接食品などが触れるよう
な箇所や、常時水につかる場所、車のマフラーなど耐熱性が必要な場所、自動車
バイクの補修、床面、テーブルの天面、常に衣服が接触するイス等には適しません)

塗 装 方 法
① ●はがれかかった古い塗膜やボロボロと取れるようなサビは、皮スキ・
ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
●塗る面のゴミや汚れ・カビを取り、充分に乾かします。油分やワックス
はペイントうすめ液で拭いてよく落とします。
② ●塗料がついては困るところは、あらかじめマスキングテープなどでおおいます。
③ ●フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナスドライバーなどを差し込
んで開け、棒などで塗料を底から充分にかき混ぜて均一にします。
●うすめずにそのまま塗れるようにしてありますが、夏期など乾燥が速すぎ
て塗りにくいときは、ペイントうすめ液で少し(10%以内)うすめます。
④ ●あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色、乾燥性、下地への
影響、密着性などを確かめてから塗ります。
●コーナーや塗りにくいところは先にすじかいバケで塗ります。広い面
積の部分はコテバケ・ローラーバケ・平バケなどを使うと、速く、楽に
塗ることができます。
●塗り重ねの場合は、4時間(冬期は8時間)以上おいてから2回目を
塗ります。
⑤ ●マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。
※表記の乾燥時間は半硬化(指で軽くこすって跡がつかない状態)の
時間です。

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちに、ペイントうすめ液がハケ洗
い液で洗って下さい。ハケについている塗料を新聞
紙などでしごき取ってから洗えば、うすめ液は少量ですみます。

取扱い上の注意 ①表示の用途以外には使用しないで下さい。②火気のあると
ころでは塗らないで下さい。③体調の悪いときやアレルギー
化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。④取扱い中は必要に応じてマスクや保
護メガネ、手袋(ポリ手袋など塗料が浸透しないもの)を使用して下さい。炎症を起
す恐れがありますので、皮膚に触れないようにして下さい。また、蒸気を吸い込んだり、
目に入らないように注意して下さい。⑤有機溶剤が含まれているので、塗装中・乾燥中
ともに換気をよくして下さい。⑥塗料が衣服につくと取れません。塗料がついても支
障がない服装で作業して下さい。⑦塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、
天気の良い日に塗って下さい。⑧結露する時期には午後3時までに塗り終えて下さ
い。⑨うすめすぎたり、うすく塗りすぎると、充分な効果が得られない場合があります。
⑩塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件の違いにより多少異なります。
⑪フッ素樹脂やシリコン樹脂、光触媒などを用いた特殊なサイディングや、コーキ
ング材、シーリング材には密着しないことがあります。⑫乾燥が不十分な状態で塗り重
ねると、塗膜がシワ状に浮き上がることがあります。⑬乾燥後、ペイントうすめ液や溶
剤系クリーナーなどで塗膜部分を拭くと、溶解する場合があります。⑭容器は塗料を
使い切ってから捨てて下さい。⑮やむをえず塗料を捨てるときは、油性塗料用固
化剤で固化するが、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分
して下さい。⑯塗料が付着したウエスなどは放置せず、廃棄するまで水に浸しておい
て下さい。⑰塗料を移し替える場合は金属などの溶けない容器をご使用下さい。
⑱容器を落させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

保管上の注意 ①幼児の手が届かないところに保存し、子供が舐飲・舐食・いた
ずらをしないように注意して下さい。②直射日光や火気のある
場所、自動車内などの温度が高くなると、容器がさびやすいところには置かないで下
さい。③残った塗料はしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

危 険
●引火性あり ●皮膚刺激 ●アレルギー性皮膚反応のおそれ ●臓器の障害
●呼吸器への刺激のおそれ ●脱気やめまいのおそれ ●水生生物に非常に強い毒性

救急処置
●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の
診察を受けて下さい。●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医
師の診察を受けて下さい。●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くな
った場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察
を受けて下さい。●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落と
し、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。

非危険物(指定可燃物)/火気厳禁/合成樹脂エナメル塗料(A-052)

株式会社 ASAHI PEN 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asashipen.jp
お客様相談室 ☎06-6934-0300 日本製 00-1501